

## \*「いい顔!」を見たくて\*

校長 成田 弥生

### \*最高の運動会心動く、すごい瞬間！\*

爽やかに晴れわたる中、「猿楽運動会 2025」は子供たちのアイデアを生かして「子ども発」で取り組み、大成功に終えることができました。運動会直後の子供たちの達成感にあふれた表情。まさに「いい顔!」その顔を見たくて主人公である子供たちを支えてきた私たち大人も幸せ感にあふれます。

だから行事は達成感がひとしおです。

当日まで、保護者、地域の方には多くの場面でボランティアとして御支援を賜り、大声援を送っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

全員で一つのことを成し遂げる、達成感、そして、頑張りを認めて、成長を歓んでもらえることがさらなる成長につながったと実感しております。たくさんの励ましのアンケートもお寄せいただき、子供たちにも紹介をさせていただきました。運動会の写真を見るとそのときの子供たちのドキドキ感が今も蘇ってきます。子どもたちが心を動かした瞬間、そしてその一コマを共に共有できた時間こそ今しかない新鮮な「宝物」です。



### \*自己効力感を高めるには\*

先日行った児童アンケート（渋谷区7つのカアンケート5月）では、本校の児童は「自分には良いところがある」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目が特に高い結果となりました。誰かのために頑張っているときの子供たちは本当にいい顔をしています。6年生が行事の準備のために、下級生のために。またそれぞれの児童が友達のためにと誰かのために頑張りが感謝されることが、幸せ感につながり自尊感情を高めていくと実感しています。

猿楽小学校では、「自分が幸せに・周りの人も幸せに」と自他共のウェルビーイングの高まりを目指し、さるラボ（探究学習）や行事などすべての教育活動を通して育んできた私たち大人にとっては、子供たちの自尊感情が高いことは何よりも嬉しいことです。

先日読んでいる本で、「自己効力感を高める秘訣」が書かれてありました。自己効力感とは、「自分は目標を達成できるだけの能力をもっている」自分自身が認識すること。分かりやすくいうと「自分に自信をもつ」ことです。日常生活や人とのつながりの中で、自分がハッピーになるアプローチを子供と一緒にしていきたいと思っています。

#### **\*\*\*自己効力感を高めるための4つのアプローチ\*\*\***

- ① 簡単な目標を決めて、小さな達成感を得る⇒小さな成功体験を積み重ねて、ささやかな充実感を味わう
- ② 新しいことにチャレンジする ⇒自分が経験したことがないことに挑戦し、そのチャレンジを楽しむ
- ③ 人とのつながりを大切にする ⇒周り人たちと良い関係を築き、精神的な安定を得る
- ④ 自分なりの振り返りの時間もつ ⇒自分と向き合い、見つめ直し「よりよくなるためには?」と考える

### \*金山交流・日光高原学園に向けて\*

水泳指導も始まり、1年生は初めての学校のプールに、ワクワク大はしゃぎで喜んでいます。いよいよ十日余りで夏休みとなります。生活や学習のまとめを丁寧に行い、楽しい夏休みを迎えていきたいと思っています。夏季休業期間には、6年生は日光高原学園・5年生は金山交流（富山県射水市立金山小学校）があり、事前学習なども行います。生涯忘れることのできない子供時代の金の思い出となるよう楽しく準備を進めてまいります。

